

# 一人一人をよろこんで学習に取り組ませるための指導はどうすればよいか

埴町立片貝小学校教諭 川村 倶義

## 一、はじめに

一人一人の子供が、学習の課題をしっかりと受けとめ、自分なりの考えをもち、みんなで話し合い、課題の解決に積極的に立ちむかっていくような学習の姿をえがきながら、どうにかして、いくらかでも、「みずから学ぼう」とする児童に近づけていくためには、われわれ教師は、どのような手だてを考えていったらよいかを、本校児童の実態を浮きぼりにした現実の問題として受けとめ、標記の研究主題をもとに、研究を進めてきた。

## 二、仮説

問題意識を持たせることから、課題をみつける子、さらには、一人学習のできる子供をめぐす一段階として教師中心の「教える」学習指導から一歩推し進め、「育てる」という学習指導への転換を図るためには、しっかりとした計画により学習の見通しを持たせ、学習のパターンをつかませることが有効と考える。

(一) 「指導計画」と「学習過程」のくふうをする。

(二) (一)を補助する要件として、次の四点を特に配慮する。

- ① 学習訓練（学習のきまり）
- ② 家庭学習法（手びき）
- ③ ドリルのための余暇の活用
- ④ 個人診断カルテ

(三) 国語・算数・社会（本年度よりとり上げた）の三教科とする。

## 三、研究の概要

(一) 指導計画について

単元（題材）の展望や指導の要点、本時の位置、前後のつながり等を目りよう然とするために一覧表とした。

資料	指導計画 題材名「 」（単元名） 指導時数 ○ 時間	目標
		1 2
時	1	2
本時のめあて	～の問題意識を深め、学習課題をとらえ……	学習課題を整理し、学習課題をとらえ……
課題	～どんな…目をつけ、どんな学習を……	どのように学習を進めたらよいだろう。
学習内容・活動	1 本時の学習に… 2 ～の問題点に… 3 問題点を整理し、学習課題としてまとめ… 4 次時の学習に… ※ 事前調査、準備テスト等の結果により、問題点を整理し、学習課題をまとめる。	1 各学習課題ごとに解決するための内容を… 2 時間、順序をきめ、学習計画としてまとめ… 3 学習計画をたてる。 ※ 学習計画をたてる。
		3
		～
		○
		△
		～
		□
		◇
		※ 教師のめあて
		※ 児童のめあて
		※ できるだけ、内容の精選をはかり、計画立案する。
		※ 学習内容の強化をはかり、成果の評価、診断をする時間を2時間ほど確保する。
		※ つまづきの治療、指導をつまづきの治療、指導をする。
		※ 自分のできなかつた問題をやりなおしてみよう。
		※ 個別指導の徹底をはかり、よりする時間を最後に設ける。

段階	学習内容・活動	時間	留意点・評価	準備・資料
確認	1 本時の学習について話し合う。 ○ 家庭での学習の様子 ○ 本時の学習のめあて ○ 学習のしかた※（考える手だてで結果を確かめる手だて） ・順序			
解決	2 各自が学習してきたことをもとに、検訂・修正して解決する。 ○ 各自の学習してきたことをもとに、学習のしかたを解決の道具として、自力で解決するよう努める ※ 意欲をもちたててやるくふう			
まとめ	3 本時の学習内容のまとめをする。 ・教師を中心に、学習内容の整理と学習のしかたの評価をする。 4 適用・発展問題の練習をする。 ※ 個別指導			
課題把握	5 次時の学習について話し合う。 (1) 次時のめあてを、学習計画にそって確認 ・方法、順序、準備…… (2) 次時のための家庭学習を考える ・学習内容と、その学習のしかた ・学習内容と、その学習のしかた ※ 能力に応じ、全員に必ずさせるくふう			

- 1 指導計画の作成に当たっては、次のことに特に配慮した。
  - (1) 指導級数は、単元目標、教材解釈実態の考慮から、内容精選し
  - (2) つかむー見通すー深めるー広げるの四段階に分け、計画
  - (3) 個別指導の強化をはかるために前後に特設時間を（資料参照）
  - 2 課題（児童に与えるめあて）については、本時めあての分析と、児童の意欲を喚起させるくふうを
  - (1) 学習計画を立案する際、児童からひき出すようにし、全時分を
  - (2) 低学年は、プリントにより
  - 3 学習内容・活動は、各自の学習の方法・順序の要点を示す。
  - 4 各時の最後に、次時の学習の課題を大まかにまとめる。
  - (二) 学習過程について
- 児童に学習のしかたを学ばせることをねらい、基本過程を次のようにした。